

タケダ・ウェルビーイング・プログラム 2024 助成の概要と推薦理由

助成番号 24-2-1

プロジェクタ名	病気があっても主役になれる子ども育成プロジェクト～みんなでやってみよう！スポーツ、音楽etc. 心に寄り添う居場所づくり～
団体名	認定特定非営利活動法人 心臓病の子どもを守る京都父母の会
代表者名	藤井 友紀
所在地	京都府
助成額	60万円
助成期間	2024年4月1日～2025年3月31日
設立年	1965年
URL	https://www.npopandaheart.com/



心臓病など内蔵疾患を抱えている子どもは、退院後は一見、日常生活が送れているように見えるため、運動や勉強が健常児よりも苦手であったりすることが理解されにくい。

この団体は、心臓病などの病気を抱えた子どもたちや健常児も含む未就学児に、週2回の親子通園型保育の場「パンダ園」を運営している。またきょうだいを対象としたイベント開催や就学相談など病児家族の悩みに寄り添う支援事業にも取り組んでいる。

また、パンダ園を卒園した子どもたちが思春期を迎える頃、学校行事や部活、進路、友人関係など様々な不安や悩みが生じるが、親や先生には相談しづらく、一人で抱え込んでいることが多い。

助成1年目には、彼らを対象とした「ティーンズパンダ」プロジェクトを実施。春や秋のスポーツ大会、マリンバ演奏会、保護者料理教室など、多岐にわたるイベントを行った。その結果、参加した子どもたちの主体性が育まれるとともに、関わる仲間が増え、父母やティーンを超えたパンダ園の卒業生、また学生ボランティアの参加がみられるようになった。

今回の助成では、さらにティーンズの子どもたちの主体性を育むしきけをつくり、子どもたちがボランティアとなり支える側へ成長する好循環を生み出していく。本助成を通じて、さらに子どもの意思表示が出来る場になるとともに、単発の企画に留まらず、次のステップに繋がることを期待したい。